

あいち朝日遺跡ミュージアム



朝日遺跡マスコットキャラクター
「アカ」&「クロ」

観覧料

区分	個人	団体 (20名以上)	年間 パスポート	清洲城 共通券	体感しだみ古墳群 ミュージアム共通券
一般	300円	250円	1,000円	500円	400円
大学生・高校生	200円	150円	600円	—	300円

※学校行事(高校以下)及びその引率者、中学生以下、障がい者の方及びその付添いの方(1名まで)は無料

施設案内

- 住所 〒452-0932 愛知県清須市朝日貝塚1番地
- 電話 052-409-1467 ● 開館時間 9:30~17:00
- 休館日 月曜日(祝休日の場合、翌平日)及び年末年始(12/28~1/3)



SNSもご覧ください 【公式HP】 <https://aichi-asahi.jp/>

あいち朝日遺跡

検索

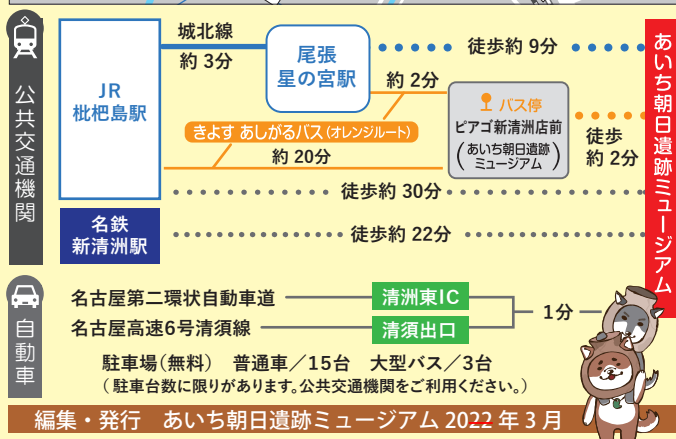


復元建物と体験水田



ミュージアム本館

アクセス



映像・ジオラマで
朝日遺跡を紹介



土器の造形



重要文化財朝日遺跡出土品



キッズ考古ラボで
弥生道具体験!

重要文化財

2022 年度

愛知県朝日遺跡出土品の保存修理



まるまどつきどき
円窓付土器 (重要文化財)

朝日遺跡は、清須市、名古屋市西区に所在する、弥生時代の大規模な環濠集落です。逆茂木・乱杭などからなる強固な防御施設、埋納された銅鐸、玉作りの工房跡など、重要な発見が相次ぎ、東海地方を代表する弥生集落として知られています。

平成 24 年 9 月には、貴重な出土品 2,028 点が重要文化財に指定されました。その内容は、土器・土製品 727 点、木器・木製品 253 点、石器・石製品 650 点、ガラス小玉 121 点、金属製品 37 点、骨角牙貝製品 240 点と多岐にわたり、弥生時代の多様な生業、生産・流通の様相を考証し、精神生活を推察するうえで極めて重要な資料となっています。

愛知県では、この貴重な文化遺産を、将来にわたって大切に保存・活用するために、国の補助を受け、平成 25 年度から朝日遺跡出土品の保存修理事業を実施しています。

愛知県

2022 年度の保存修理

土器・土製品

遺跡で見つかる土器のほとんどは、割れて破片となって出土します。これらをパズルのようにつなぎ合わせ、接着剤や石膏^{せつこう}を用いて、元の形へと復元します。図や写真など記録を作成した後は、そのまま収蔵庫に保管されます。しかし、復元後長い年月が経つと、接着剤や石膏による接合部が劣化し、形にゆがみが生じ、最悪壊れてしまうことがあります。

土器の保存修理は、まず土器を解体し、破片の状態に戻します。再度破片を接合し、元の形を復元していきます。欠損部は樹脂で補い、補彩します。このように保存修理された土器は形状が安定し、長期間の保存や展示等公開できるようになります。2022 年度は、壺形土器 6 点の保存修理を実施しました。

保存修理の工程 壺形土器 178 (178)



①修理前
接合部や古い石膏が劣化し、土器が壊れやすくなっていました。



④修理完了
樹脂で補った部分を彩色し目立たなくし、完成です。



②解体
土器の接着剤を除去し、破片の状態に戻します。



③接合・樹脂充填
再度破片を接合し、欠損部を樹脂で補います。

2022 年度に修理した土器



壺形土器 122 (122)



壺形土器 125 (125)



壺形土器 153 (153)



壺形土器 167 (167)



壺形土器 214 (214)

修理によって明らかになったこと

修理の過程で新しい発見もありました。

壺形土器 153 (153) と壺形土器 167 (167) には、表面に生じた亀裂部分に粘土を充填し補修したとみられる痕跡が残っていました。通常の修理では、土器の強度を高めるために、亀裂部分に樹脂を充填し補強しますが、今回見つかった痕跡は土器の製作・使用に関する痕跡として貴重なため、樹脂充填を行わずそのまま残すことにしました。



壺形土器 153 (153)



壺形土器 167 (167)

補修の痕跡
写真左は胴下部の縦の亀裂に沿って、右写真では口縁部の亀裂に沿って、粘土を貼り付けた痕跡がありました。土器の成形後、乾燥する際に生じたひび割れを補修する目的で行われたものと見られます。